「東北地方太平洋沖地震」に対する声明

３月１１日に発生した「東北地方太平洋沖地震」は、震度７を観測し、そのエネルギーはマグニチュード９が記録され、阪神淡路大震災の約 360 倍に相当するといわれています。直後に発生した大津波は７メートルを超える規模で押し寄せ、沿岸部から数キロメートルにわたり町をのみ込み、被害は想像を絶する状況です。

被災された皆様に衷心よりお見舞いを申し上げます。また、現在救援活動にあたられている方々に心より敬意を表します。

ＪＲ総連には、各地域から組合員も多くの被害を受けているとの報告が寄せられています。各級機関は組合員の安否確認と被害の状況把握に最大限の力を注ぐことを要請します。

ＪＲをはじめ、関連各社の施設は大きな被害を受けており、自ら被災しながらも復旧作業にあたっている組合員に敬意を表します。

ＪＲ総連は組合員・家族の安全確保と災害救援を最優先の課題とし、あらゆる方策を講ずることとします。組合員のみなさんにおかれましては、くれぐれも安全を第一として、労働災害や過労などには特段の注意を払いつつ、災害救援・復旧作業に取り組むよう強く要請します。

災害を免れた組合員は、自らの災害対策を再点検しましょう。そして、被災された仲間たちを激励するとともに、救援活動に献身的かつ積極的な協力を要請します。

ＪＲ総連には被災直後から、海外の労働者からお見舞いと激励のメッセージが続々と届いています。ＪＲ総連はこうした労働者の連帯の気持ちを胸に、全組合員の団結と連帯で災害救援と復旧に全力を傾注して奮闘する決意です。

組合員・家族をはじめとする被災された方々が一日でも早く心理的衝撃などの難局を乗り越え、日常生活が取り戻せますようお祈り申し上げます。

ともに頑張りましょう！

２０１１年3月１２日

全日本鉄道労働組合総連合会（ＪＲ総連）